

令和4年度第4回
札幌市環境影響評価審議会

議 事 録

日 時：令和4年7月14日（木）午後1時開会
場 所：Web会議

札幌市環境局

1 出席者

(1) 第11次札幌市環境影響評価審議会委員

- ◎近藤 哲也 北海道大学名誉教授、(公財)札幌市公園緑化協会 理事長
○坪田 敏男 北海道大学大学院獣医学研究院 教授
秋山 雅行 (地独)北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所
環境保全部長
石塚 真由美 北海道大学大学院獣医学研究院 教授
伊藤 真由美 北海道大学大学院工学研究院 准教授
奥本 素子 北海道大学高等教育推進機構 准教授
小篠 隆生 北海道大学大学院工学研究院 准教授
鈴木 光 北海学園大学法学部 教授
高橋 英明 (地独)北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所
環境保全部 専門研究員
福原 朗子 北海道科学大学工学部 講師
吉田 剛司 (特非)EnVision環境保全事務所 研究員
渡部 要一 北海道大学大学院工学研究院 教授
計 12名 ◎:会長、○:副会長

(2) 事務局

- | | |
|----------------------------|-------|
| 札幌市環境局環境都市推進部環境管理担当部長 | 吉津 智史 |
| 札幌市環境局環境都市推進部環境共生担当課長 | 濱田 敏裕 |
| 札幌市環境局環境都市推進部環境共生担当課環境共生係長 | 石川 郭遂 |
| 札幌市環境局環境都市推進部環境共生担当課環境共生係 | 成田 浩之 |

2 報道機関

なし

3 傍聴者

9名

1. 開 会

○事務局（濱田環境共生担当課長） 定刻となりましたので、ただいまから、令和4年度第4回札幌市環境影響評価審議会を開催いたします。

本日は、ご多用のところをご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

札幌市環境共生担当課長の濱田でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

今回も、前回までと同様に、オンライン形式で開催させていただいております。

また、札幌市情報公開条例の規定に基づきまして、本会議は傍聴希望者の方々向けにYouTubeにて限定公開という形でライブ配信しておりますことをご報告いたします。

なお、議事録作成のため、本会議の映像を録画しておりますので、あらかじめご了承ください。

それでは、開会に当たりまして、環境管理担当部長の吉津よりご挨拶を申し上げます。

○吉津環境管理担当部長 札幌市環境局環境管理担当部長の吉津でございます。

環境影響評価審議会の開催に当たりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、ご多用の中、本日の審議会にご出席いただきまして、心よりお礼申し上げます。

本日の会議でございますが、札幌駅前における再開発事業に係る準備書の審査についてご審議をお願いしたいと存じます。

今回も、専門的な見地からのご意見を頂戴したいと考えておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

簡単ではございますけれども、以上でご挨拶とさせていただきます。

それでは、どうぞよろしくお願ひいたします。

○事務局（濱田環境共生担当課長） 最初に、本日の資料について確認させていただきます。

事前にメールでも送付させていただいたところですが、まず、次第、委員名簿、事業者出席名簿となっております。そのほか、参考資料として、札幌駅前再開発事業における環境影響評価手続状況、（仮称）札幌駅交流拠点北5西1・西2地区第一種市街地再開発事業環境影響評価準備書関係の資料として、資料1-1と資料1-2があります。

資料は以上となります。

本日は、委員15名のうち12名の方々に出席をいただいております。以上から、札幌市環境影響評価審議会規則第4条第3項の規定によりまして、この会議が成立していることをご報告いたします。

これからの進行は、近藤会長にお願いしたいと存じます。

会長、よろしくお願ひいたします。

2. 議 事

○近藤会長 それでは、進めさせていただきます。

本日は、札幌駅前の再開発事業の1件の審議となっております。終了予定時刻は14時頃を予定しておりますので、委員の皆様におかれましては、ご協力のほどをよろしくお願い致します。

それでは、議事に入らせていただきます。

(仮称)札幌駅交流拠点北5西1・西2地区第一種市街地再開発事業環境影響評価準備書に関わる第3回目の答申案についての審議となります。

それでは、これまでの審議概要の振り返りと事前にメールで提示しております答申案について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局(石川環境共生係長) それでは、事務局より、これまでの審議会における委員の皆様からの意見の振り返りをお配りした資料1-1に沿ってご説明いたします。

時間も限られていますので、詳細な説明については割愛させていただきます。

前回、前々回の審議内容については、まず、地下水、地盤沈下に係る地下水位及び水質への影響、そして、日照障害に係る北8西1地区の再開発事業との複合的影響、緑化計画における出入口による緑の連続性及び創成川通の緑について、そして、景観プレ・アドバース手続との関連、新幹線駅舎による景観への影響、周辺地域への熱供給及び建物の断熱、バス動線についての意見や質問がございまして、事業者より回答を受けております。

また、準備書公表以降に追加公表された高層階の展望施設、歩行者動線及び基壇部、屋上における緑化計画について、事業者より説明がございました。

これらのご意見を踏まえまして、事務局から答申案を提示いたします。

それでは、画面共有をさせていただきます。

(仮称)札幌駅交流拠点北5西1・西2地区第一種市街地再開発事業環境影響評価準備書について、記書き以降を読ませていただきます。

「本事業は、『札幌駅交流拠点まちづくり計画』(平成30年9月札幌市)に掲げる札幌駅交流拠点の先導街区の一部である札幌市中央区北5条西1丁目・西2丁目地区を対象事業実施区域として、最高高さが24.5メートル、かつ延床面積が388,500平方メートルに達する大規模建築物、及び排出ガス量(湿り排出ガス量をいう。)が最大で108,340立方メートル毎時(標準状態における)に達する地域冷暖房施設が建設されるものである。

事業の実施に当たっては、環境影響評価の重要性を認識するとともに、次に掲げる事項について十分な検討を行い、その結果を具体的かつわかりやすく環境影響評価書に反映させ、環境影響を極力回避又は低減すること。

1 総論。

(1) 累積的影響について。

ア 当該対象事業実施区域の周辺では、北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)事業及び北8西1地区第一種市街地再開発事業が実施中であるほか、北4西3地区第一種市街地再開発事業が実施予定であり、これら他事業と本事業に伴う累積的影響が懸念される。

このため、特に先行事業との累積的影響については、可能な範囲において情報等の収集に努めたいと、調査、予測及び評価を行うこと。

イ 他の事業者から累積的な影響の調査、予測及び評価に必要な情報の提供依頼があった場合には、可能な限り情報を共有することで、地域全体の環境影響の低減を図ること。

(2) 事後調査について。

ア 事後調査及び環境監視を適切に実施すること。また、その結果を踏まえ、必要に応じて、追加的な環境保全措置を適切に講じること。

イ 上記の追加的な環境保全措置の具体化に当たっては、十分な効果が得られるよう、調査結果や専門家等からの助言を踏まえ、客観的かつ科学的に検討すること。

2 各論。

(1) 地下水及び地盤沈下について。

本事業に係る工事は、二つの街区に跨る大規模なものであり、かつ、その事業実施区域の東西方向への広がりがあるが周辺における地下水の流れに対して直交する方向となっている。このため、東西に遮水壁を設けたことによる上流側の地下水位の変化が周辺の地下空間や建築物へ及ぼす影響や、連続する街区の地下水の流れを堰き止めたことによる周辺への影響などについて検討を加えること。

また、遮水壁の設置等に伴う周辺地下水の水質への影響について配慮すること。

(2) 日照障害について。

現在実施中の北8西1地区第一種市街地再開発事業との累積的影響について、北9条西2丁目交差点において、本件計画建築物との複合日影が出現する可能性がある。この地区は日影規制の規制対象区域外であるものの、例えば、日影が積雪期の道路状況へ与える影響等も踏まえながら本事業による環境影響について考慮すること。

(3) 景観について。

ア 本審議会における景観に係る意見等の各種手続への反映について。

準備書に示されている景観に係る環境影響評価手続と景観プレ・アドバイズ手続において、後者を前者の手続に反映することが示されているが、前者から後者の手続への反映が示されていないため、後者の手続においても本審議会における意見等を十分に勘案するとともに、今後作成する評価書の内容を都市計画審議会の手続の際に反映できるよう考慮すること。

イ 景観の検討結果に係る評価書本編への適切な記載について。

準備書の資料編に掲載されている図は、景観への影響を示すうえで重要であることから、今後の評価書において本編に適切に掲載すること。

ウ 計画建築物及び新幹線駅舎との一体感の創出について。

本件計画建築物及び北海道新幹線札幌駅駅舎との一体感を創出することにより、北5条から北6条にかけての創成川通周辺に圧迫感を与えるなど景観への影響について懸念されることから、今後の評価書の作成に当たっては、可能な限り検討段階の図面等を掲載した

うえで、景観デザインへの配慮について、関係者と協力しながら、慎重に検討を進めること。

(4) 緑化計画について。

『札幌市景観計画』（平成29年2月札幌市）で定める『札幌駅南口地区景観計画重点区域における景観形成基準』において、『街区全体に緑があふれるよう、オープンスペースの緑化の他、屋上や壁面等への立体緑化にも努める。』と示されており、本準備書においても積極的な緑化を行う旨の記載があるところ、本件計画建築物の出入口が設置されると、地上部緑地の連続性が途絶える可能性があることから、緑地の連続性を確保する方策について十分検討すること。

(5) 温室効果ガスについて。

計画建築物の外装仕様等の検討において、断熱性能を高めることは、建築物そのものが排出する温室効果ガスを抑制するために有効な手段であることから、屋上断熱のみならず壁断熱も含めた外装の適切な選定について十分検討すること。」。

以上でございます。

○近藤会長 それでは、本審議会の答申案につきまして、修正やご意見はございませんでしょうか。

これは最終ですので、ご発言の際は、そのまま文章に反映できるような形でご意見をいただければと思います。

（「なし」と発言する者あり）

○近藤会長 それでは、特にご意見がないようですので、この形で進めることとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」と発言する者あり）

○近藤会長 それでは、今後の答申作成の流れについて事務局から提案をお願いいたします。

○事務局（濱田環境共生担当課長） この答申案を最終的な答申として決定させていただきます。答申については、近藤会長にご一任いただきたいと思います。

○近藤会長 それでは、この答申につきましては、そのように進めてまいります。

以上をもちまして、本日の札幌駅交流拠点北5西1・西2地区第一種市街地再開発事業環境影響評価準備書についての答申案の審議を終了いたします。

本日は、これで予定しておりました議題は全て終わりましたので、審議を終了させていただきます。

それでは、進行を事務局にお返しいたします。

3. 閉 会

○事務局（濱田環境共生担当課長） 近藤会長、大変ありがとうございました。また、委員の皆様もご審議をいただきまして、誠にありがとうございます。

事務局から1点、報告させていただきます。

7月8日まで市民の皆様から意見募集を行ってまいりました札幌駅北口の北8西1地区第一種市街地再開発事業に係る事後調査報告書ですが、募集期間中に意見の提出はございませんでしたので、ご報告させていただきます。

それでは、本日の審議会をもちまして、第11次環境影響評価審議会の審議事項は全て終了とさせていただきます。

まず、新型コロナウイルス感染症の影響により、本来であれば対面開催とすべきところを途中で書面回答とさせていただいたことによりまして、会議運営面で委員の皆様にご迷惑をおかけする形になったことをお詫び申し上げます。

次に、これまで6年にわたり本会議の委員を務めていただきました近藤会長、小篠委員、鈴木委員、吉田委員、そして、本日は欠席されておられますが、上田委員におかれましては、本市の規定であります同一附属機関における通算期間の制限であります3期6年を経過いたしましたことから、今期の任期である来月の8月8日をもってご退任となります。

そこで、最後に、皆様方からご挨拶をいただければと思います。

まず、近藤会長からお願いいたします。

○近藤会長 6年間、ありがとうございました。

私の任期は、先ほどご紹介がありましたように、今回で最後になります。

特に私が審議会の会長であった2年間というのは、多分、20回ぐらい審議会が開催されたと思います。ただ、やはりコロナの影響で最初の2回だけが対面で、あとの18回ぐらいは全てオンラインということになりました。

審議内容としましては、札幌駅周辺のビルが2件、それから、石狩湾洋上風力発電が8件と、よく似た内容の課題がしかも交互に審議され、さらに、配慮書、方法書、準備書と入っていきまして、なかなか難しい審議会だったと思います。そのような中でも審議にご協力いただきました委員の皆様にご感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

○事務局（濱田環境共生担当課長） 近藤会長、ありがとうございました。

続きまして、小篠委員からご挨拶をお願いいたします。

○小篠委員 小篠でございます。

今の答申書にもありましたが、この6年の中で、特に後半の札幌駅周辺の市街地再開発事業に関わる環境影響評価というのは、札幌市の中で実際に行われた環境影響評価の中でもかなり特異なものだったと思うわけです。

特異なものだったというのはどういうことかということ、札幌市における環境影響評価の中では、いわゆる自然地の生態系における環境にどういう影響を及ぼしてしまうとか、例えば、清掃工場など、環境に非常に影響を与えてしまうようなものに対してどうトリートメントをするかということが重要なファクターだったと思うのです。ですから、都市内、しかも中心市街地の再開発事業を環境影響評価としてどう見るかということについ

ては、きちんとした手続を行う上において、まだまだいろいろな問題があったのではないかなと思うのです。それについては、近藤先生に相当協力していただいたと私は思っていますが、その手続に関して、ほかの審議会、あるいは、ほかの検討すべき主体との架け橋をつくるみたいなことや、それぞれの事業で影響を及ぼしてしまうものについてどういうふうに見るのかという指摘をすることができたことが重要だったのではないかと思いますし、今回、累積的な影響というキーワードが出てきたこともすごく大事な話だったと思っています。

それから、もう一つ、環境影響評価でいろいろな課題を投げ込んだものについて、例えば、それを都市計画審議会の中でどうやって議論するのかとか、環境影響評価の中でいろんな注文がついていることについて、ほかの審議会でもうやって最終的な判断をしていくのかということの仕組みというのは、なかなかまだできていないし、環境影響評価自体がそこにそれほど重きを置いていなかったということがあるわけですが、これは非常に課題だと感じています。ですから、札幌市の中でそのことを非常に重視して考えていただきたいということが今回の答申の中にもう少し強く書かれてもいいのではないかと私は思っていました。それは会長にお任せしたいと思いますが、ああいう書き方になって表れてきたのも一つの成果だったのではないかなと思います。

ただ、それで全てが解決したということではなく、プロジェクトは、これから実際の建設に向かって進んでいくわけですから、それに向けて、札幌市として世界に誇れるような都市景観をつくり出せるのか、中心市街地を形成できるのか、そういったことに関して、様々な視点から継続的にチェックをしていただきたいと思います。

私の委員としての任期はこれで終わりますが、その辺のことはまだ続くと思われしますので、今後の審議においても十分配慮してやっていただければと思っています。

ありがとうございました。

○事務局（濱田環境共生担当課長） 小篠委員、どうもありがとうございました。

続きまして、吉田委員からご挨拶をお願いいたします。

○吉田委員 吉田です。6年間、どうもありがとうございました。

毎回、毎回、今回はしゃべらんと思うのですが、関西人の悲しいさがか、必ず何か足跡を残さんと気が済まない性格で、どちらかというと、常に発言ばかりしてご迷惑をおかけしたかなと思います。ただ、駒岡から始まり、いろいろな案件に携わらせていただきまして、非常にいい勉強をさせていただきました。

政令都市として札幌市が非常に真摯にこれらに取り組んでおられることは、非常に感心しました。私は委員を降りますが、今後も他の部会等でほかの委員の先生方とまた一緒に仕事をすることも多いと思います。何より少しでも市の行政の役に立てるような市民でありたいなということを常に考えられるような審議会でしたので、非常にいい勉強をさせていただきました。

ぜひ今後ともよろしく申し上げます。ありがとうございました。

○事務局（濱田環境共生担当課長） 吉田委員、どうもありがとうございました。

続きまして、鈴木委員、お願いいたします。

○鈴木委員 長い間、お世話になりまして、ありがとうございました。

おかげさまで、良い勉強をさせていただきました。委員の皆様、事務局の皆様におかれましては、また別の機会にお世話になることがあると存じます。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○事務局（濱田環境共生担当課長） 皆様、ご挨拶をどうもありがとうございました。

6年間の長きにわたりまして、先ほどもお話がありました再開発事業などについて、市政の重要課題や施策にご助言やご意見をいただきまして、どうもありがとうございました。感謝いたします。

続きまして、8月9日の次期審議会についてですが、現在のところ審議案件がありませんことから、本審議会は、しばらくの間、休会となる見込みです。

次の審議の時期が見通せましたら、早めに委嘱等の手続を行わせていただきたいと存じますので、第2期目及び第3期目の委員の皆様におかれましては、引き続き、ご協力のほどをよろしくお願ひ申し上げます。

それでは、閉会に当たりまして、事務局を代表して、環境管理担当部長の吉津よりご挨拶申し上げます。

○吉津環境管理担当部長 環境影響評価審議会の閉会に当たりまして、ご挨拶を申し上げます。

第11次の委員の皆様におかれましては、2年間にわたり、札幌駅前における再開発事業及び石狩湾洋上における風力発電事業の審査並びに太陽光発電事業の追加に係る札幌市の環境影響評価制度の改正に当たり、多大なるご尽力をいただきまして、誠にありがとうございました。

今期で退任される委員の皆様におかれましては、今後とも本市の環境行政にご協力をいただきたいと存じます。また、ご専門の分野でのますますのご活躍を祈念いたします。

そして、そのほかの委員の皆様におかれましては、引き続き、次回以降の札幌市環境影響評価審議会にご協力をいただければ幸いです。

以上、ご挨拶とさせていただきます。

皆様、誠にありがとうございました。

○事務局（濱田環境共生担当課長） それでは、これもちまして、令和4年度第4回環境影響評価審議会の閉会させていただきます。

本日は、大変どうもありがとうございました。

以 上